SSH に関するアンケート

1. 学年・クラス・出席番号を 4 桁で答えてください。(例 1 年 2 組 3 号→1203)
2. 氏名を記入してください。
3. 課題研究の研究分野を選択してください。
   ｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｼｯﾌﾟ分野
   文学分野
   体育・健康科学分野
   物理分野
   化学分野
   生物分野
   地学分野
   数学・情報分野
   生活科学分野
   社会科学分野
4. 次の項目について、「5:よくあてはまる」,「4: ややあてはまる」,「3:どちらともいえない」,「2: あまりあてはまらない」,「1 :全くあてはまらない」のいずれかで答えてください。

【課題研究関心性尺度】
1. 自分の課題研究には、大変関心をもっている。
2. 課題研究に役立つ情報を、積極的に収集するようにしている。
3. 課題研究を、より充実したものにしたいと強く思う。
R4. 課題研究に関係する本や情報には、ほとんど触れない。
5. 課題研究は自分にとって重要な問題なので、真剣に考えている。
R6. どのように課題研究を進めるかということは、あまり気にならない。
7. 充実した課題研究になるよう参考となる話は、注意して聞いている。
8. どうすれば課題研究をよりよくすることができるか、考えたことがある。

【課題研究自律性尺度】
9. 自分の課題研究を主体的に進めている。
10. 課題研究の進め方には、自分で責任をもつ。
11. 自分から進んで、どのように課題研究を進めていくのか決めている。
R12. 課題研究が充実しないのは、大半は周囲の環境によると思う。
13. 課題研究で難しい問題に直面しても、自分なりに積極的に解決していく。
R14. 周りの雰囲気にあわせて、課題研究を進めていけばよい。
15. 充実した課題研究になるかどうかは、自分の意志と責任によると思う。
16. 課題研究を通して、さらに自分自身を伸ばし高めていきたい。

【課題研究計画性尺度】
17. これからの課題研究について、自分なりの見通しをもっている。
18. これからの課題研究で、取り組んでみたいことがいくつかある。

R19.研究計画はあるけれど、それを実現するための努力は特にしていない。
20.自分が望む課題研究にするために、具体的な計画を立てている。
R21.これから課題研究で何を目標とすべきか、わからない。
22.希望する課題研究になるよう、努力している。
23.今後どんな課題研究を進めていきたいのか、自分なりの目標をもっている
24.自分が期待しているような課題研究を、この先実現できそうである。

【人生キャリア関心性尺度】
1. 自分のこれからの人生や生き方には、大変関心をもっている。
2.これからの人生を、より充実したものにしたいと強く思う。
R3.進路や生き方に関係する本や情報には、ほとんど触れない。
4.人生設計は自分にとって重要な問題なので、真剣に考えている。
R5.どのように生きるべきかということは、あまり気にならない。
6.充実した人生を送るために参考となる話は、注意して聞いている。
7.どうすれば人生をよりよく生きられるのか、考えたことがある。

【人生キャリア自律性尺度】
8. 自分の人生を主体的に送っている。
9. 人生や生き方には、自分で責任をもつ。
10.自分から進んで、どんな人生を送っていくのか決めている。
11. 人生で難しい問題に直面しても、自分なりに積極的に解決していく。
R12.人生が充実しないのは、大半は周囲の環境によると思う。
R13.周りの雰囲気にあわせて、人生を送っていけばよい。
14.充実した人生になるかどうかは、自分の意志と責任によると思う。
15. これからの人生を通して、さらに自分自身を伸ばし高めていきたい。

【人生キャリア計画性尺度】
16. これからの人生や生き方について、自分なりの見通しをもっている。
17. これからの人生で、取り組んでみたいことがいくつかある。
R18.人生設計はあるけれど、それを実現するための努力は特にしていない
19.自分が望む生き方をするために、具体的な計画を立てている。
R20.これからの人生で何を目標とすべきか、わからない。
21.希望する人生や生き方が送れるように、努力している。
22.今後どんな人生を送っていきたいのか、自分なりの目標をもっている
23.自分が期待しているような人生を、この先実現できそうである。

【SSH 事業有用感尺度】
次の項目について、「5:よくあてはまる」,「4: ややあてはまる」,「3:どちらともいえない」,「2: あまりあてはまらない」,「1 :全くあてはまらない」のいずれかで答えてください。
なお、必須項目以外は、経験したものについて回答してください。

1. 課題研究のテーマ設定時の取組み（ﾏｲﾝﾄﾞﾏｯﾌﾟ、相互質問、練り上げ等）は役立った。
2. 論文検索の方法や調査の方法についての指導は役立った。

3. 課題研究の研究計画報告会は役立った。
4. 課題研究の中間発表は役立った。
5. 課題研究論文のまとめ方についての指導は役立った。
6. 課題研究プレゼンテーション作成についての指導は役立った。
7. 英語での課題研究論文作成についての指導は役立った。
8. 国語の授業を受けて、課題研究を進める上で役立つことがあった。
9. 数学の授業を受けて、課題研究を進める上で役立つことがあった。
10. 英語の授業を受けて、課題研究を進める上で役立つことがあった。
11. 理科の授業を受けて、課題研究を進める上で役立つことがあった。
12. 地歴・公民の授業を受けて、課題研究を進める上で役立つことがあった。
13. 芸術の授業を受けて、課題研究を進める上で役立つことがあった。
14. 家庭科の授業を受けて、課題研究を進める上で役立つことがあった。
15. 保健・体育の授業を受けて、課題研究を進める上で役立つことがあった。
16. 情報の授業を受けて、課題研究を進める上で役立つことがあった。
17. URⅠのｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｼｯﾌﾟ講座（1学期）は役立った。
18. ARⅠやGRⅠでの１学期の３年生との交流会は役立った。
19. GRⅠでのSDGsをテーマにした一連のグループ活動や発表は役立った。
20. 数理探究の中期講座での統計等に関する学習は役立った。
21. データサイエンスにおける外部講師によるデータロガー作成講座は役立った。
22. Gcomでの研究を英訳する取組は役立った。
23. 熊本大学安藤宏恵先生によるデータサイエンス講演会（10/13）は役立った。
24. 植松努先生による40周年記念講演会(10/28)は役立った。
25. KSISF２０２２（ハイブリッド型英語ポスター発表会、7/12）は役立った。
26. 熊本県理数科研究発表大会(11/1)は役立った。
27. KSH発表会は役立った。
28. 大学主催の発表会（九工大・九大・崇城大学）は役立った。
29. 各種学会発表は役立った。
30. その他外部での発表会は役立った。
31. 科学系部活動は役立った。
32. 菊池農業高校との合同勉強会(11/14)は役立った。
33. 共創ワークショップ(8/1)は役立った。

【SSH事業に関する自由記述】
SSHの行事や課題研究等について、気づきや意見、感想等があれば自由に答えてください。